

「永遠のレンズを通して苦難を見る」 コロサイ 3:1-4

---

コロサイ人への手紙 3 章。

今日は最初の 4 節を見ていきますが、その理由はすぐに分かると思います。

使徒パウロが聖霊によって書いています。

**コロサイ 3:1-4**

- 1 こういうわけで、あなたがたはキリストとともによみがえらされたのなら、上にあるものを求めなさい。そこでは、キリストが神の右の座に着いておられます。
- 2 上にあるものを思いなさい。地にあるものを思ってはなりません。
- 3 あなたがたはすでに死んでいて、あなたがたのいのちは、キリストとともに神のうちに隠されているのです。
- 4 あなたがたのいのちであるキリストが現れると、そのときあなたがたも、キリストとともに栄光のうちに現れます。

待ちきれません。

祈りましょう。

愛する天のお父様、あなたの今日の御言葉を心から感謝します。

特に今朝の御言葉が語る事は、私たちの心と思考をあなたに、天にあるものに向けさせて下さいます。

しかし主よ、聖霊が力を与えて下さらなければ、上にあるものに思いを向ける望みが本当でないことを痛感します。主よ、今この時でさえ、思考をあなたに明け渡すために聖霊が必要です。

そうすれば私たちは集中でき、専念することができます。どうかあなたが助けて下さい。

主よ、いつものように語りかけて下さい。そのために私たちはここにいます。

あなたはいつも誠実なお方です。主よ、お語り下さい。しもべは聞いています。

イエスの御名によって。アーメン。

私が本当に今日の箇所を楽しみにしてきたのが皆さんにも伝わっていると思いますが、実際ずいぶん前から楽しみにしていました。

今日お話したいのは、クリスチャンとしてどうすれば、永遠のいのちというレンズを通して人生を生きることができるのか。具体的には、腐敗して行くこの世にあって、人生に於ける試練、直面する苦痛、苦難、困難をどのように見るのか、です。

こんな言葉を聞いた事があると思います。「いつも天国を思っているクリスチャンは、地上で役に立たない。」その様子だと、聞いた事がありそうですね。私はそういう人、あまりにも天の事を思い過ぎて、地上で全く役に立たない人に、まだ会ったことがありません。皆さんは？ 実際、私が会ったことのある、いつも天国を思っている人、思いを天にあるものに固く向けている人達は、地上でも実に良い働きをしています。

「天にあるものに思いを向ければ向けるほど、地上の人生はますます善となり、地上で善となればな

るほど、より良い行いができるようになる」というのが真実で、パウロが今日の箇所語っている事、私がお伝えしたい事です。

C・S・ルイス（1898-1963）が著書『Mere Christianity』の中で最高の表現をしています。

「永遠の世界を継続的に願い求める事は、現代人が考えるような現実逃避や希望的観測ではなく、クリスチャンがすべき事の1つである。それは、私たちが今の世を置き去りにすることではない。歴史を見れば分かる事だが、今の世のために懸命だったクリスチャンは、次に来る事を最もよく考える人たちであった。ローマ帝国の転換の足掛かりとなった使徒たち、中世を建て上げた偉大な人たち、奴隷売買を廃止にした英国人伝道師…彼らは全員、天にあるものが思いの全てだったので、地上にきっちりとその足跡を残したのだ。クリスチャンは（聞いて下さい）多くの部分で、別の世界について思うのを止めて以来、無力になってしまった。天を目指せば、地上の目的を得る。地上を目指せば、どちらも得られない。」これは、パウロが言っていた事です。

事前準備をしていないと完全に失敗してしまうと思ったので、ノートに書き出しました。

辛抱して下さい。それは賜物ですよ。

私が書いたのは、「私たちはキリストと共によみがえらされたのなら、キリストに心と思いを固く据える事によってキリストを捜し求める。なぜなら、私たちはキリストのうちに隠されていて、間もなくキリストと共に天に行くのだから。」

かなり良くできていますよ。全部私が書きましたよ。いえ、違います。聖霊によってです。聖霊です。今朝起きた時、「主よ、私にはこの4つの節をあなたの教会で教える特権があります。あなたの人々に対して、真理を丸ごとパワフルに伝えたいのです。人生を変える真理を」と。

言い換えると、「天にあるものを思っているクリスチャンは、キリストが現れて、栄光の中で主と一緒にいるという日の観点で、試練と勝利の両方を見ている。」それが天国思考。上にあるもの、私たちが待ち受ける栄光に思いを向けるのです。敢えて言うなら、報いが待ち受けていますよ。

先週驚愕したのは、福音書の中で救い主が実に何度も繰り返した事です。特にたとえを用いて話したのが、「はかなく短い人生は、終わりのない永遠のいのちを決定するのか。待ち受ける報酬を決定するのか。」という事でした。確かにパウロも同様に、この事について語っています。

私たちはこれに関して、クリスチャンとしてちょっと面白おかしく言いますね。

まるで利己的な風に、「私は天に宝を積んでいるんだ!」「天で報酬があつて、冠をもらうんだ。宝石に、ご褒美に、豪邸!」「地上でした事の報酬を天で受け取るんだ!」

私たちはそんな風に考えませんよね。将来のための計画を立てるのは間違いではありません。

でも考えてみて下さい。

「クリスチャンとして人生をいかに過ごしたか」によって、「クリスチャンとして何をしたか」で、永遠のいのちが決定するという事を本当に理解するなら人生は変わります。あらゆる事が変わりますよ。

恐らくもう少し説明する必要があるでしょうね。数学的に考えてみます。

皆さんが人生 100 年の間に行う事が、10 億年の間に行う事を決定づける。10 億年、100 億年、1000 億年、そして永遠の時間に行う事の全ては、この人生で行った全てに基づくのです。

チャールズ・トーマス・スタッド（1858-1931）が最高の表現をしています。

「人の命はすぐに消え去る。そして、キリストのためにした事だけが残る。」

えっと…、これがノートを使う理由で、思い切って言ってしまったせいで、大変な事になるから。

このように言えば、シンプルで分かり易いと思います。

全知全能の神が、私たちが永遠の世界で得られる報いを、地上にいる間に垣間見せて下さるなら、私たちのあらゆる判断、時間の使い方、全ての人間関係と行いが変わるでしょう。

なぜならそうなれば、永遠の観点であらゆる事を行うからです。

ここで質問です。私も自問しなければならぬ事です。

「私が現在行っている事は、永遠にはどのように影響するのか。」

私たちは何も持って行く事はできません。

ある人が言っていましたが、「霊柩車の後ろには何も無い。」（死ぬ時は裸）

前もって先に送る事はできますが、一緒に持って行ける物はありません。

さて、天にはある人々がいます。彼らがそこにいるのは、私たちが地上で行った事のゆえです。

この事が、箴言の御言葉を私が信じる理由です。

**箴言 11:30** 正しい人の結ぶ実はいのちの木。知恵のある者は人の心をとらえる。

間もなく、本当にもうすぐその日が来る。私は本当に信じていて、皆さんもそうだと思います。

その日は、まさにもうすぐ来ます。

#### I テサロニケ 4:16-17

**16** すなわち、号令と御使いのかしらの声と神のラツパの響きとともに、主ご自身が天から下って来られます。そしてまず、キリストにある死者がよみがえり、

**17** それから、生き残っている私たちが、彼らと一緒に雲に包まれて引き上げられ、空中で主と会うのです。こうして私たちは、いつまでも主とともにいることになります。

その時私たちと一緒にいる人たちが、私たちのゆえに、そこにいるのだとすれば…なんと素晴らしい!

**I コリント 2:9** 目が見たことのないもの、耳が聞いたことのないもの、人の心に思い浮かんだことがないものを、神は、神を愛する者たちに備えてくださった。

**ローマ 11:33b** 神のさばきはなんと知り尽くしがたく、神の道はなんと極めがたいことでしょう。

パウロは私たちを待ち受ける栄光について、表現することさえ罪だと言っています。

神が、私たちを待ち受けている栄光をどうにかして見せようとされるなら、私たちは永遠に失われた者になるでしょう、と言ってもいいでしょうか。良い言い方だと思いますよ。

神にしてみれば、間違いなく、私たちへの計画全てが台無しになるでしょう。

なぜなら今、私は永遠のいのちというレンズを通して人生を見ているから。

お気づきですか？ あなたの永遠のいのちは、イエス・キリストに人生を献げ、神の御霊によって新生した時から始まっています。それが、あなたの永遠のいのちが始まった瞬間なのです。

ずっと考えていた事ですが、天での報いを期待するのは間違いではありません。これは天での報いに関する、別の機会での、別のトピックかもしれませんが。ただ理解しなければなりませんよ。天に行けば、私たちには違いがあるのです。でも、こんな人はいません。「ねえ、本当にガッカリだよ。」天には、残念なことなど何もないのです。

私はこう考えています。ある人たちは地上での生き方のゆえに、天に於いて、理解しがたいほど素晴らしく、壮大な永遠の富を持ちますが、ある人たちにはそれがない。救いを失う事はありませんが、報いを失う事はある。それは全て、自分の思いがあるところによって決まります。私の思考次第。それゆえ箴言は語っているのです。

**箴言 23:7a** 彼はその欲望が示すとおりの人間だ。(新共同訳)

私たちは、自分が思い考えている通りの人間です。私が主と歩む中で学んでいる最もパワフルな真理の1つは、思考が人生に影響するという事で、どう考えるかによって、どのように感じ、行動するかが決定づけられる。良い事も悪い事も。だから、思いの一つひとつを捉える事が、とても重要なのです。これが、パウロがピリピ教会に言っている内容です。

**ピリピ 4:8** すべて真実なこと、すべて尊ぶべきこと、すべて正しいこと、すべて清いこと、すべて愛すべきこと、すべて評判の良いことに、また、何か徳とされることや称賛に値することがあれば、そのようなことに心を留めなさい。

マインドセット（思考設定）という言葉について説明します。私たちはこの言葉を用いて、あまりにもあっさり片付けてしまいがちです。「これが私の、彼らのマインドセットだよ。」

マインドセットが意味する事を知っていますか？ ものすごく深いですよ。

「自分の思考（マインド）を設定（セット）している。」ものすごく深いと言ったでしょ。

こう言いましょう。私は昨夜、目覚ましを設定し、寝る前に自分の思考も設定しました。

何に思考を設定したと思いますか？ 午前3時に起きなければならないという事実です。

でなければ、私はここに立って言っているでしょう。「今日は何も準備していないので、証しを分かち合う日曜日にします。」私は早く起きなければならないので3時にアラームを設定しました。そのように思考を設定する。

ところで、皆さんもそれをしていきますよ。気づいていなかったでしょうけど。

皆さんもその時間に起きなければならないという時、アラームが鳴る前に起きることがあるでしょう。それは思考をセット（設定）したからです。目覚ましをセットするのと同じです。

馬鹿げたたとえに聞こえないようにと思います。でも、それがマインドセット（思考設定）なのです。

パウロはコロサイの人たちに、「この世の事に思考を設定しないで」と言っているのです。

この世の事に思考設定すれば何が起こりますか？ 人生はどうなりますか？ 世的な、世俗的な人生になりますよ。逆に、思考を天にあるものに設定すれば、人生はそのようになります。

人は考える通りのものだから。人は設定した思考の通りの人間になる。

なので、私がここで天にあるものを考えていて、自分の思考と思いを神に設定すると、それが全てを変えるのです。今私は世が叩く太鼓ではなく、神が叩く太鼓に合わせて踊っています。

時代を越えてよく知られている讚美歌『Turn Your Eyes Upon Jesus／目をあげて 主のみ顔を』が全てを語っているでしょう。

Turn your eyes upon Jesus, Look full in His wonderful face,

And the things of earth will grow strangely dim, In the light of His glory and grace.

目を上げて主の 御顔を見るとき この世のものは薄れ 主の栄光輝く

御言葉を4つシェアしたいと思います。

本当はもっともっとありますが、この4つは私にとって素晴らしい祝福であり、励ましであり、個人的に非常に苦しい時期を乗り越えることができた神の御言葉、約束、道です。

補足すると、ローマ書8章全体が、聖書全編の中でも偉大な章の1つです。

今日ここにいる中で、試練の中で非常に苦闘している人、「神は一体どこに?」「こんな状況を許しているのだから」と神が愛しておられる事を疑っている人、ローマ書8章は思い起こすべき御言葉ですよ。

### ローマ 8:38-39

**38** 私はこう確信しています。死も、いのちも、御使いたちも、支配者たちも、今あるものも、後に来るものも、力あるものも、

**39** 高いところにあるものも、深いところにあるものも、そのほかのどんな被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から、私たちを引き離すことはできません。

「でも今は、主をととても遠くに感じるのです。」いいえ、主はそこにおられます。

どうか、この御言葉をしっかりと黙想し、更に、祈りながらローマ書8章全体を読んで下さい。

① **ローマ 8:18** 今の時の苦難は、やがて私たちに啓示される栄光に比べれば、取るに足りないとは私は考えます。

これは私の人生の御言葉です。特に「これはひどい…」「これは辛い。主よ、助けて下さい」と言う時、3語の祈り、神はたった3語の祈りに応えて下さいます。ペテロに聞いてみて下さい。

彼は水の上を歩いて沈み出します。彼には「天にまします我らの父よ。願わくば…」と祈る時間はありませんでした。ブクブクブク…手遅れ。だから彼の祈りは「Lord! Save Me!」（主よ！私を助けて！）3語。主はその祈りを聞かれ、応えて下さいました。

ある翻訳では、「今の時の苦難は・・・取るに足りないとは計算します。みなします。」

「I reckon」（計算する・みなす）となっていました。

For **I reckon** that the sufferings of this present time are not worthy to be compared with the glory which shall

be revealed in us. (AKJV)

私はその訳が好きです。皆さんもそうでしょう。「私は計算する。」

「和解させる・仲裁させる」という言葉の語源。

ノートの左右に2つの項目を作り、それぞれを総合的に比較し、結論づけるのです。

**ローマ 8:18** 今の時の苦難は、やがて私たちに啓示される栄光に比べれば、取るに足りないと私は考えます。

今、苦難に直面していますか？ 試練がありますか？ もしかしたら、自分が御心の中にいるのかどうかさえ疑っているのかもしれないですね。私たちはそう思ってしまいます。困難な事情や試練に遭うという事は、御心から外れてしまったのだと誤解してしまうものです。

でもちょっと待って下さい。

ガリラヤ湖の舟にいるイエスの弟子たち。彼らに生死に関わるような恐ろしい嵐が襲いかかって来ました。ガリラヤ湖のど真ん中で嵐に遭遇。でも、彼らはまさに御心のど真ん中にいるのです。イエスが彼らを嵐の中に送ったのだから。

出エジプト記のイスラエル人。彼らがエジプトを出て紅海に辿り着いたのは、神が彼らを紅海に導いたから。それが試練です。全ての人の人生に、自分の紅海という試練があるのです。

背後にはエジプト軍が迫って来ている。すなわち死。目の前には紅海が広がっている。つまり死。

それが、神が現れるとき。「しかし神は」の瞬間です。

そうです。今現在、私は苦しんでいます。今まさに試練があります。しかし、

**ローマ 8:18** 今の時の苦難は、やがて私たちに啓示される栄光に比べれば、取るに足りない。

天にあるものに思考を設定し、待ち受ける栄光というレンズを通して人生の試練を見るなら、あらゆる事が変わります。勝利でさえも。

「私の痛みと苦しみの時はとても長引いていて、もう2年になります。」「これが5年続いていて、終わりが見えません。」そうですか？ 50億年の永遠に比べて5年とは？ その視点で見るとどうですか？ それが、パウロが言ってることです。

**②ローマ 12:2** この世と調子を合わせてはいけません。むしろ、心を新たにすることで、自分を変えて

いただきなさい。そうすれば、神のみこころは何か、すなわち、何が良いことで、神に喜ばれ、完全であるのかを見分けるようになります。

これも素晴らしい。バイブルスタディーでローマ書をやる時、私は本当にこの箇所を見直して教えなければなりません。

この世と調子を合わせてはいけません。この世にとらわれ、型にはめられてはいけない。

この世と調子を合わせるというのは、この世に思考を設定するということ。

その代わりに、むしろ、心を新たにすることで、自分を変えていただきなさい。

どうやって？ 新しい思考設定が必要です。

コンピューター用語を借りるなら…テクノロジーの専門家の方は、これに感謝しているでしょう。

ハードドライブのデータが破損したならどうしますか？ 上書きしますね。新しいファイルをインストール

ールして、破損したファイルを上書きします。それが心を新たにすること。考え方を新しくする方法です。「はい、そうします。どこにサインしたらいいでしょう？ 私は良い事が欲しいし、神を喜ばせたいし、完全な心が欲しいです。」それが、心を新たにすることによって達成できる事です。

私がこれを言うことに、多分うんざりだと思いますが、もう1度言います。そして何度も何度も言い続けます。これは聖書全体で、他の御言葉と同じく大好きな御言葉です。だけどこれは特別です。

③ **イザヤ 26:3** 志の堅固な者を、あなたは全き平安のうちに守られます。  
その人があなたに信頼しているからです。

これは、悩みや心配を癒す **ピリピ 4:6-7** と一致します。悩みをなくす方法を知りたいですか？

**ピリピ 4:6-7**

6 何も思い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。

7 そうすれば、すべての理解を超えた神の平安が、あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます。

イエスによる平安は、あらゆる人知を超える神の平安。

**ヨハネ 14:27** わたしはあなたがたに平安を残します。わたしの平安を与えます。  
わたしは、世が与えるのと同じようには与えません。

私たちは理解すると平安を得る事があります。「私は理解している。大丈夫！ 平安だし、心静かで落ち着いている。」

でもパウロが、そしてここでイザヤが言っているのは別の種類の平安で、人知を超越しているもの。別の言い方をすれば、(笑顔で)「今自分を取り巻いている状況を見ているんだけど、大丈夫！」

神は、「あなたが平安を得る唯一の方法は、混乱・試練・逆境の真ただ中で、あなたの思考をわたしに設定すること。そうする時、わたしからの平安が得られる。」と言っておられる。

天にあるものを思い、あなたの思考を再設定するのです。

再度コンピューターのたとえですが、あなたは思考を再起動させる必要があります。思考の再起動。

**イザヤ 26:3** 志の堅固な者を、あなたは全き平安のうちに守られます。  
なぜなら、その人があなたに信頼しているからです。

私は神に目を向けていて、私の思考は神にあり、神に信頼しています。そのお陰で問題はありません。

「でも、人生に起こっている事を見てよ！」違いますよ。違います。

永遠に比べると、それは認識すらされません。秒針を1秒すら動かさないとも言うか。

ところで、こんな事を言うのは誰ですか？「人生の苦しみ、困難、試練、痛みは、永遠のいのちに備えるためのものではない」だなんて！

最後に**マタイ 6:21**、実際は**マタイ 6:19-34** です。

マスト (must)、必読です。イエスの山上の垂訓。イエスご自身が話されていて、大変興味深い。

④ **マタイ 6:21** あなたの宝のあるところ、そこにあなたの心もあるのです。

「あなたの心のあるところに、あなたの宝がある」とは言われていません。違います。

「あなたの宝があるところには、あなたの心がある。」

あなたの宝と思考の設定は、地上のものですか？ それともあなたの思考と心、宝は天にありますか？  
あなたが主に情熱を献げるもの、最も重んじるもの、あなたの最も偉大な所有物は永遠のいのちです。  
それが、クリスチャンの皆さんが得る事のできる最も尊い所有物。

家でも車でも銀行口座や仕事でもない。そんなものではありません。最も尊い持ち物は永遠のいのち。

「自分では所有していないけれど、先に送る事ができる」と話したのを覚えていますか？

息子のイライアスが仮想通貨に投資していて、とても上手くやっています

彼は私にいくらか、そんなにたくさんではないけれど、少し買ってくれました。

価格が上がってきて、面白いことに、彼は突如、それをウェブサイトに載せたのです。

それで私は何と言うか、「今、いくらかな」などと確認している自分がいて、投資しているゆえに今でもそれを考えている。それには問題はありませんよ。だけど、「それを所有してもいいが、それにあなたを支配させるな！」

では、天に投資するのはどうでしょう。株価や仮想通貨を確認する代わりに、朝、まずそれを確認するようになりませんか？ 天での投資を確認しますよ。

ところで、天への投資（天に積む宝）についてイエスが言われたのは、

**マタイ 6:20** 自分のために、天に宝を蓄えなさい。そこでは虫やさびで傷物になることはなく、盗人が

**壁に穴を開けて盗むこともありません。**

それは安全で、決して衰えない価値。天への投資は絶対に暴落しません。

しかし地上ものは下落します。そして地上のものに投資するなら、思考と心がそこに行ってしまうのです。

最後に言ってもいいですか。嫌だと言っても、言いますけどね。

私自身にも同じ事を言うのですが、私たちは地上の仮の人生という土壌に、あまりにも深く根を張り過ぎて来たのではないのでしょうか。それが天の永遠のいのちを浪費しているのでは？ もしかすると、それが天を待ち望まない理由では？ 地上に投資し過ぎているために。思考を地上のもの、この世の事に設定しているために。恐らく、この世の事を愛しているから。それは過ぎ去って行くのに。

私たちは2つを愛することはできません。神とお金や財産、その両方に仕えることはできないのです。

**マタイ 6:24** だれも二人の主人に仕えることはできません。一方を憎んで他方を愛することになるか、一方を重んじて他方を軽んじることとなります。

**あなたがたは神と富とに仕えることはできません。**

イエスは「してはいけない」ではなく「できない」と言われました。

天に仕えて投資するか、地上で自分に仕えて投資するか、どちらか一方です。

2つに仕えることは不可能です。2人の主人には仕えられません。



